銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

10月の銅の概況及び11月の見通（2）

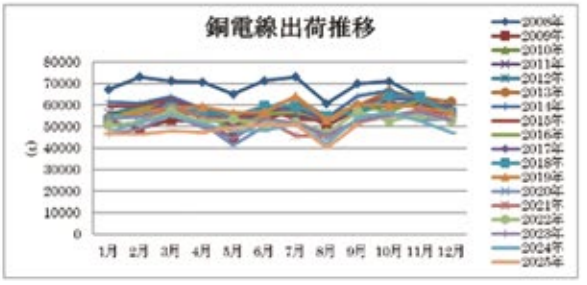
予想レンジ

LMEセツル	10,500－11,000ドル
建　値	161万円－174.5万円
為　替	150円～155円
	（1か月間TTM）

■国内指標

◆日本電線工業会発の出荷速報（推定）

出荷量　51,300t（銅量ベース）
前年同月比　－4.2%　2か月連続マイナス



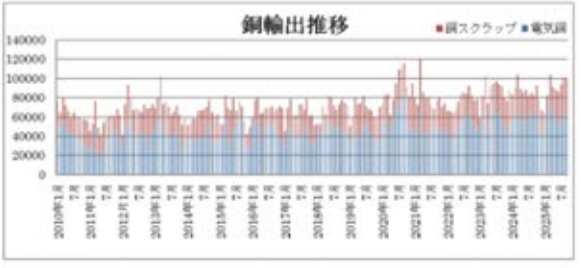
出典　日本電線工業会

■貿易関連指標

◆輸　出

電気銅　－7.2%　6万2,910 t
スクラップ　＋76.2%　3万6,137 t

輸　出	7月	8月	9月
電気銅	5万3,510 t	6万4,300 t	6万2,910 t
前年比	－9.9%	－7.3%	－7.2%
スクラップ	4万254 t	3万6,816 t	3万6,137 t
前年比	－51.3%	＋80.7%	＋76.2%



出典　財務省　貿易統計

◆輸　入

電気銅　－19%　239 t
スクラップ　＋36.7%　3万1,719 t

輸　入	7月	8月	9月
電気銅	487 t	217 t	239 t
前年比	＋50.8%	＋130.9%	－19%
スクラップ	3万1,369 t	2万8,504 t	3万1,719 t
前年比	＋26.2%	＋41.7%	＋36.7%

出典　財務省　貿易統計

■国内概況まとめ

◆自動車生産

生産動態統計によると、9月の自動車生産台数は前年比－0.2%の72万4,397台。輸出は、前年同月比－1.4%の34万3,452台となり、国内外ともに減産傾向が続いた。

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会の発表によれば、10月の自動車販売台数（軽除く）は前年比－4.3%の24万7,883台需要回復の遅れが鮮明となった。

◆住宅着工

9月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比7.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.4%の増加となった。

◆伸銅品生産

9月の伸銅品生産量は、5万7,000トンで前年同月比7.2%増、4か月連続のプラス。14品目中10品目が増加した。自動車向け需要が回復し、北米向け輸出もトランプ関税の影響を受けず堅調。半導体関連はAIデータセンターやスマホ向けが好調で、中国向け家電需要も回復傾向。エアコンは買換え需要が堅調だが、建設関連の遅れで大型機の回復が遅れている。全体として需要回復基調が続く見通し。

◆電線

9月の電線出荷量（銅ベース）は、5万1,300トンで前年同月比－4.2%。2か月連続マイナスに転じた。

（「10月の銅の概況及び11月の見通し」つづく）